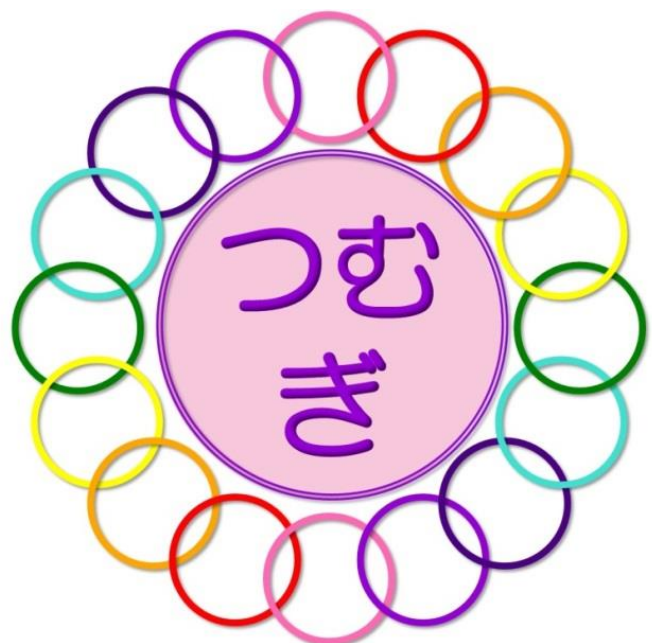


リカバリー「つむぎ」

活動報告

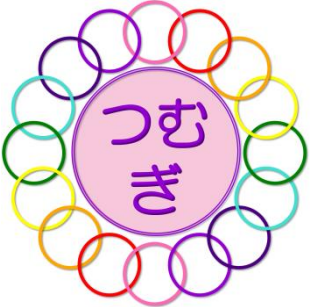


リカバリー



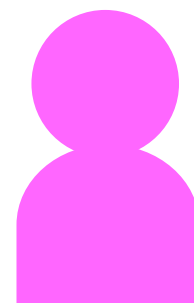
心理領域と福祉領域 のピアサポート の捉え方の違い





心理領域と福祉領域の ピアサポートの捉え方の違い①

【心理領域】



傾聴を意識しながら
かかわっていく

受容

共感

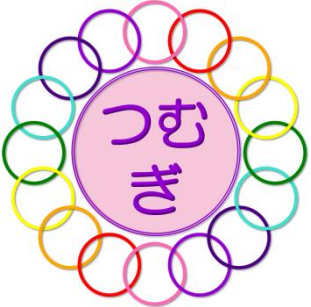
自己
一致

来談者中心療法
(傾聴の三原則)

聴き方
の態度

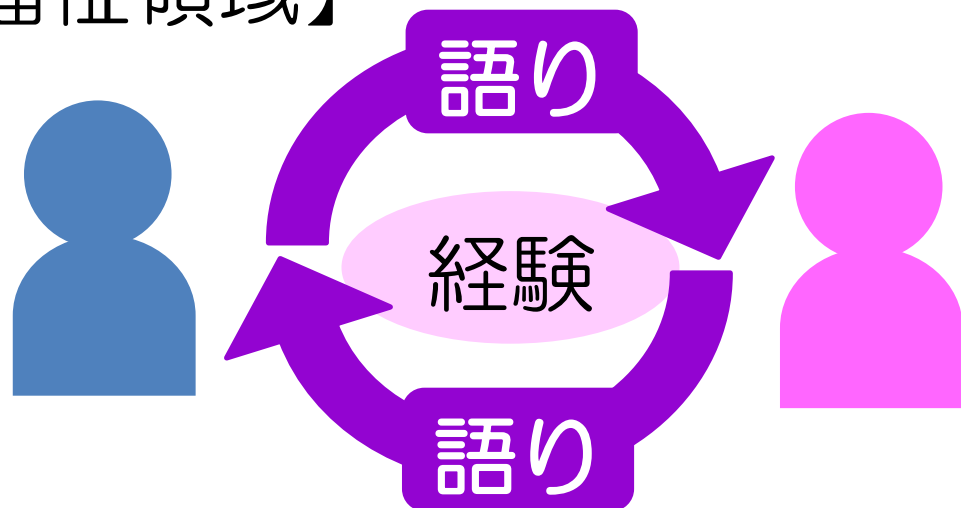
相手
基準

心理的
距離間



心理領域と福祉領域の ピアサポートの捉え方の違い②

【福祉領域】



- 経験を語る（差し出す）ことにより、相手のリカバリーを促進する。
- 経験者同士の語り合いにより、リカバリーが循環していく！

ピアサポートの
援助力の源



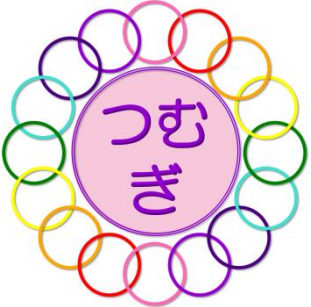
経験的知識

専門的知識
と比べて
より

- **実際の**
- **実用的**
- **包括的**

リカバリー「つむぎ」 について

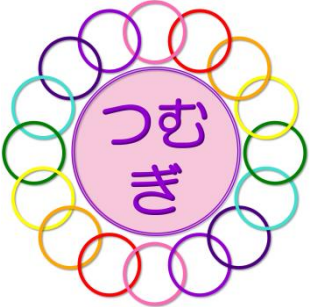




リカバリー「つむぎ」 について

大人の発達障害・精神障害の方々のためのピアサポートグループ（当事者会）。

当会では特に就労問題に力を入れ、
就労をしている方・就労を目指している方が
ピアサポートできる場を創出し、
リカバリーをつむいでいけるような場を目指している。



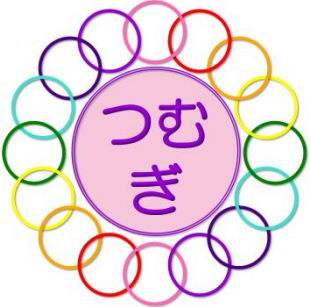
リカバリー「つむぎ」 の活動内容

●つむぎオープン就労の会

主として、発達障害や精神障害をオープンにして就労している方・就労を目指している方を対象に、就労について話し合う会

●つむぎクローズ就労の会

主として、発達障害（未診断含む）や精神障害をクローズにして就労している方・就労を目指している方を対象に、就労について話し合う会

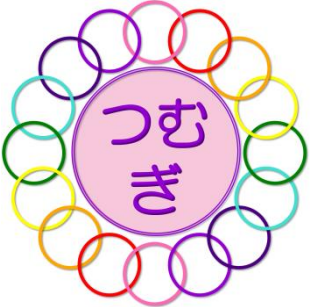


リカバリー「つむぎ」 の理念

- ①発達障害・精神障害を抱える方々にとって、
安心安全の場を提供できるよう努めます。
- ②発達障害・精神障害を抱える方々もその
支援者も対等な立場で学び合い、協働できる
場をつむぎ出します。
- ③発達障害・精神障害を抱える方々が就労後に
ピアサポートできる場を創出し、リカバリー
の促進を目指します。

リカバリー「つむぎ」 の設立経緯



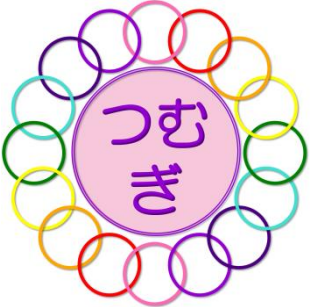


リカバリー「つむぎ」 の設立経緯①

リカバリー「つむぎ」は2020年1月に新たに設立された団体。

2019年末までは、「つむぎ 発達障害当事者会」として活動していたが、諸事情により外部団体から分裂するよう促される。

それがきっかけで仲違いし、本当に分裂することになった。



リカバリー「つむぎ」 の設立経緯②

そんな悲しみと絶望的な気持ちの中で誕生した
のが、

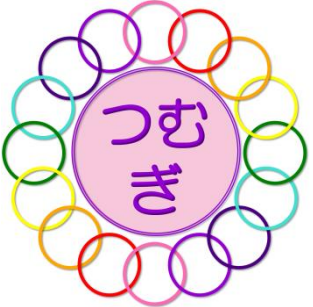
- ・リカバリー「つむぎ」
- ・ピアサポート「つむぎ」

始まりは“マイナス”



“マイナス” から “プラス” に転換！



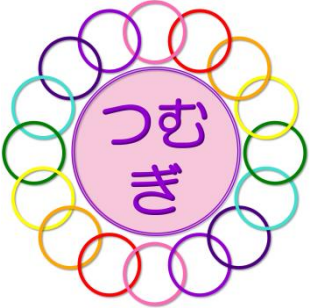


“マイナス” から “プラス” に転換！

- 以前から考えていた、精神障害の受け入れを積極的に行っていくきっかけとなった。
- 会の分裂作業を行うことにより、ITスキルや会計の知識などが身についた。
- 「対等性」の難しさと大切さに気付き、改めて考える機会になった。

皆さんに お伝えしたいこと

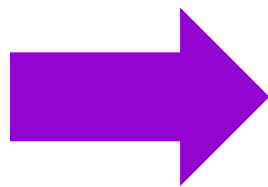




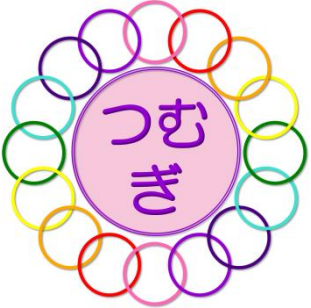
皆さんにお伝えしたいこと① ～ピンチはチャンス～

- 会の運営をしていると、悲しい思いをしたり
憤りを感じることもある。
しかし、ピンチはチャンス！
こういうときこそ、“前進の機会”である
ことを忘れないでほしい。

危 **機**
会

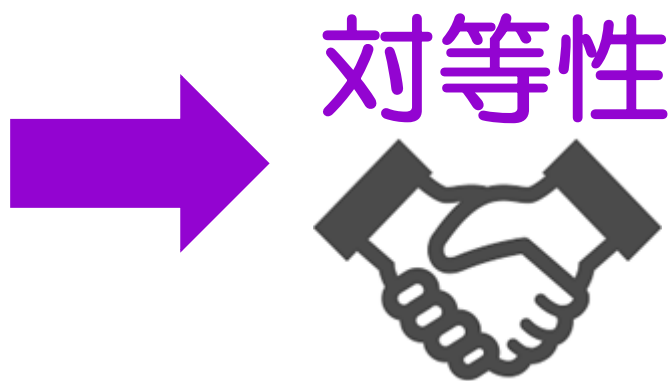


ピンチは
チャンス！



皆さんにお伝えしたいこと② ～「対等」とは何か？～

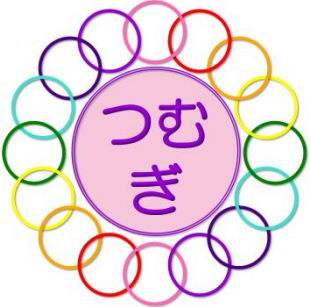
- 「対等な関係性」というのは、
当事者-支援者間ではもちろんのこと、
当事者同士でも成立が難しい。
いつの間にか、上下関係や指示的な関係に
なっている、というのはありがちなこと。



対等性



崩れやすいからこそ、
常に意識しておく
ことが大切！



ご清聴
ありがとうございました！

リカバリー「つむぎ」

- URL :

<https://recovery-tsumugi.net/>

※リカバリー「つむぎ」

で検索しても出てきます。

- メールアドレス :

info@recovery-tsumugi.net

